

■堺市立桐文化会館

	具体的取組指標 (B)		目標値	実績値	
			H30	H28	H29
具体的取組の達成度を測る評価指標 <u>※基本的施策の評価指標を踏まえて設定すること</u>	共通指標	利用者数	180,000 人	176,242 人	187,731 人
	独自指標	文化芸術振興事業及び自主事業の参加者数	13,800 人	14,268 人	13,733 人
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	実施予定の取組 (平成 29 年度)		<p>①「桐文ニューイヤーコンサート」のリニューアル 50～60 歳台の新規利用者やイベントの観客が伸び悩んでいる中、これまでのニューイヤーコンサートを 50～60 歳世代をメインターゲットにしたコンセプトにリニューアルし、新規利用者の開拓を目指す。</p> <p>②「桐文自習 DAY」の開講 会館の活性化を図ると同時に、次世代の利用者としての確保が期待できることから、南区を中心とした中学生・高校生を対象に毎週土曜日の夕方から夜間、集会室を自習室として無料で開放する。</p> <p>③財団指定管理施設と連携した事業展開 東文化会館で開催し、好評であった「懐かしの昭和映画 (邦画) 看板・ポスター展」の巡回展を秋の名画鑑賞会に合わせて開催する。</p>		

<p>上記目標値達成に向けた特筆すべき取組</p>	<p>取組実績 (平成 29 年度)</p>	<p>①「柵文サウンド夢セレクション」 (平成 30 年 1 月 21 日 (日) 14:00 開催) スペシャルゲストに元 J-WALK の中村耕一氏を迎え、1970 年代～80 年代のフォーク & ニューミュージックの名曲を京フィルの演奏でお届けする内容。入場者 217 人 (客席数 709 人)。入場者数が思うように伸びず、収支的には大苦戦となった。しかし、来館した方へのアンケートにおいては好評であり、潜在的なニーズはあるものと思われる。次年度は事前の PR 等を強化し、集客増をめざす。</p> <p>②「柵文自習 day」 平成 29 年度延べ利用数は 165 人 (中学生/80 人 高校生/65 人) 月平均およそ 10～12 人程。まだ認知度が低く次年度は南区を中心に告知方法などを強化し、更なる利用者増をめざす。</p> <p>③「懐かしの昭和映画 (邦画) ポスター展」 延べ入場者数は 433 人 (11 月 17 日 (金) 118 人、18 日 (土) 214 人、19 日 (日) 101 人) ホール事業「名画鑑賞会」に合わせて開催したため、映画鑑賞後立ち寄りの方が多かった。年配の方には概ね好評であった。</p>
	<p>今後の取組の方向性 (平成 30 年度以降)</p>	<p>①地域資源の活用 柵文化会館を拠点に活動している各種文化団体を重要な地域資源と位置づけ、創造・発表の場として更なるサポートを強化する。</p> <p>②コーディネート機能の強化 地域の文化団体・行政・学校等とのコラボにより、コーディネート機能を発揮し、高齢化により活動困難サークルの館主催事業化や、少子化のため単独での芸術体験が困難な学校間を結んだ芸術鑑賞会の開催等の事業に取り組む。</p> <p>③新規利用者の開拓 継続利用者の稼働率を保ちながら、若年層に向けた新規事業などを通じて新規利用者の開拓をめざす。</p>

■堺市立西文化会館

	具体的取組指標 (B)		目標値	実績値	
			H30	H28	H29
具体的取組の達成度を測る評価指標 <u>※基本的施策の評価指標を踏まえて設定すること</u>	共通指標	利用者数	120,000人 (公募時の企画提案書記載目標)	123,883人	111,405人 (約4か月間一部の施設が休館)
	独自指標	①「文化芸術振興事業」及び「自主事業」の合計実施回数 ②合計参加者数	①780回 ②20,400人	①557回 ②17,729人	①758回 ②19,888人
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	実施予定の取組 (平成29年度)		<p>【見出しの番号等は「平成29年度事業計画書」記載箇所を示すものである】</p> <p>各館別資料(基本的施策①:文化会館事業)の稼働率向上に係る取り組みと重複するものを除く。 (=貸し施設の利用主体者の増加)</p> <p>2-(2) 具体的な取組の一例</p> <p>①子どもを対象にした事業の充実化 ②質の高い公演の鑑賞機会提供 ③初心者、初級者対象の技術向上事業 ④堺で活躍する団体とのネットワークを構築し、「堺らしさ」が感じられる事業 ⑤地域や世代、分野を超えて、幅広い文化芸活動を支援する参加型事業 ⑥多彩な体験講座・入門講座を実施し、サークル化、クラブ化へと働きかける生涯学習施設活用事業</p> <p>3 文化芸術振興事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文化芸術振興事業計画書」参照 <p>7-(1) -②事業の開催告知</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業のチラシ、ポスターを作成し、市内及び近接自治体の各公共施設等へ設置いただくとともに、事業の集客対象者に応じた広報活動を実施 また、当館及び当社のネットワークを活用して、新聞(プレスリリース等)やフリーペーパー(南海電鉄、西日本旅客鉄道、ぱど等)に掲載の働きかけを行うほか、当館メール会員へのメールマガジン配信なども行う。 		

		<p>8- (1) -③事業参加者</p> <ul style="list-style-type: none">• 西区の人口構成等の分析結果等に基づいた事業企画等により、地域住民の興味を持ちやすいテーマ、開催時間等を事業企画に反映させるとともに、対象に応じた適切な手法(一例としては世代別の広報ツール等)で広報を行う。 <p>10 自主事業計画書及び収支計画書</p> <ul style="list-style-type: none">• 「自主事業計画書」参照 <p>15- (2) -②ホームページ、メールマガジン等による広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none">• ホームページや SNS、メールマガジン等を活用した情報発信を強化します。文化講座のスケジュール、ホール事業に関するトピックス、チケット販売など、最新の情報を掲載する。
--	--	--

<p>上記目標値達成に 向けた特筆すべき取組</p>	<p>取組実績 (平成 29 年度)</p>	<p>①子どもを対象にした事業の充実化</p> <ul style="list-style-type: none">・ こどものための音楽鑑賞会「0歳から参加できるうたとオーケストラ」公演/指揮者体験コーナーが好評で継続開催のお声を多数いただいた。・ 「0歳からのピアノコンサート」/映像による紙芝居(スライドショー)と音楽によるリズム遊びでこどもが音楽に親しむ機会を提供した。・ こども弦楽合奏団「ウェスティキッズストリングス」結成/個人練習に偏りがちな弦楽器奏者に合奏の技術等を修得する機会を提供。将来的には合奏団による公演を目指す。・ 子どもの芸術発表会、ウェスティ親子観劇会等多数の事業を実施した。 <p>②質の高い公演の鑑賞機会提供</p> <ul style="list-style-type: none">・ ドイツのアーティストと日本人アーティストによる「至高の古楽デュオが奏でるモーツァルト公演」/過去のアンケート結果からクラシック音楽の公演希望が多数あったことから当該公演を決定。古楽器のレプリカを使用することにより、モーツァルトが聴いた当時の音を再現したコンサート。・ ウェスティオータムコンサート「舞太鼓あすか組」/市民とウェスティウルトラキッズパフォーマーズが半年間のレッスンを経てオープニングでプロパフォーマーと共演した。・ 「第5回堺おとりうえす亭」 <p>③初心者、初級者対象の技術向上事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「第九を歌おう」&「第九コンサート」/市民と館長が半年間のレッスンを経て舞台上で第九を披露。毎年参加者が増加中。・ 「ピアノ塾」、「ドラム塾」/「あの楽器やってみたかった・・・」を叶える塾シリーズ。 <p>④堺で活躍する団体とのネットワークを構築し、「堺らしさ」が感じられる事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「第47回堺市民能」[共催事業]堺市民能協
--------------------------------	----------------------------	---

		<p>会、堺市文化振興財団</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「第 50 回堺少年少女合唱団・第 46 回リープズハーモニー合同演奏会」/[共催事業]堺市文化振興財団・ 「堺シティオペラウェスティミラクル紅白歌合戦」/[共催事業]堺シティオペラ (館長は審査員として参加)・ 夏休みに自分で作った茶碗でお抹茶体験をする「お茶碗づくりとお抹茶体験」 <p>⑤地域や世代、分野を超えて、幅広い文化芸活動を支援する参加型事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「あなたが主役!ダンス IN ウェスティ」、「ミュージック IN ウェスティ」/地域で活動するサークルが大集合。 <p>⑥多彩な体験講座・入門講座を実施し、サークル化、クラブ化へと働きかける生涯学習施設活用事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生涯学習施設活用事業 31 事業を実施し、市民の文化芸術活動のきっかけを提供するとともに、活動の継続へと発展させた。 <p>3 文化芸術振興事業計画書</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「文化芸術振興事業報告書・決算書」参照 ホール活用事業 21 事業実施 (22 回) 生涯学習施設活用事業 31 事業実施 (460 回) <p>7- (1) -②事業の開催告知</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各事業のチラシ、ポスターを作成し、市内及び近接自治体の各公共施設等へ設置いただくとともに、事業の集客対象者に応じた広報活動を実施した (子どもを対象とした夏休みの事業であれば西区全小学校へ配布、0 歳から参加できる事業であれば、近隣のアカチャンホンポ、小児科がある病院等。クラシックコンサート等であれば近隣楽器店等にご協力をいただいた)。・ また、当館及び当社のネットワークを活用して、新聞 (プレスリリース等) やフリーペーパー (南海電鉄、西日本旅客鉄道、ぱど等) に掲載の働きかけを行うほか、当館メール会
--	--	---

		<p>員へのメールマガジン配信なども行った。</p> <p>8- (1) -③事業参加者</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年少人口の比率が高い西区で子ども向けの事業を多数企画するとともに、様々な分野の事業を企画することで偏りをつくらないよう努めた。また、単発の事業を実施するのではなく、長期的な育成を目的とした事業を実施し、地域住民の文化芸術活動の裾野拡大を図った。事業の開催時間は前年のアンケート結果を参考にするなど地域住民のニーズを重要視した。 <p>10 自主事業計画書及び収支計画書</p> <ul style="list-style-type: none">・ ヨガ、書道等の文化講座を中心とした自主事業は 37 事業 (447 回) を実施し、地域住民が集い交流する場を提供するとともに、新たな趣味を見つけていただくなど文化活動へのきっかけを提供した。 <p>15- (2) -②ホームページ、メールマガジン等による広報の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・ 貸館事業の取組実績に記載。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 最新の文化行政施策や他施設での好事例等を当館の運営に取り入れるため、専門家 (文化庁文化政策部会委員) を招聘し、研修会を実施した。
	<p>今後の取組の方向性 (平成 30 年度以降)</p>	<p>次代を担う子どもを対象とした事業の更なる充実化や長期的な視点での事業展開を継続することで西区における文化芸術活動の裾野を拡大するとともに、様々な地域住民の新たな文化活動を促す事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 利用者数 12.0 万人・ 事業実施回数 (文芸+自主) 780 回・ 事業参加者数 20,400 人・ こどもミュージカル劇団創設及び育成、そしてオリジナル作品の公演を成功させる。

■堺市立東文化会館

	具体的取組指標 (B)		目標値	実績値	
			H30	H28	H29
具体的取組の達成度を測る評価指標 <u>※基本的施策の評価指標を踏まえて設定すること</u>	共通指標	利用者数	260,000 人	247,810 人	234,040 人
	独自指標	文化芸術振興事業及び自主事業の参加者数	26,000 人	14,802 人	23,367 人
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	実施予定の取組 (平成 29 年度)		<p>①地域住民参加型事業の拡充 地域の文化芸術活動は、文化芸術に対する裾野の拡充と育成が期待できることから、会館での発表会・展示会の実施など、地域の振興および区民のふれあいの場を提供する。 ※ 北野田バンドフェスティバル (東区の中学・高校の吹奏楽部と東区で活動する社会人吹奏楽団計 9 団体)、大美野アート (大美野地区の住民達の書・絵画・写真他の展示) など</p> <p>②協賛金、政府系機関の後援等の獲得 「インド音楽と舞踊」にてエアインディアから協賛金、インド領事館から後援名義、インド政府から日印友好交流年記念事業として認定を得る。 「済州・日本神話交流美術展」にて大阪大韓民国総領事館韓国文化院の後援名義を得る。</p> <p>③世代に特化した事業の成立 60 歳～80 歳をターゲットに「懐かしの昭和映画 (邦画) ポスター・看板展」を開催する。ジュニア・キッズをターゲットに「子どもアートプロジェクト」を市と会館共催で開催する。</p>		
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	取組実績 (平成 29 年度)		<p>①地域住民参加型事業の拡充 文化芸術に対する裾野の拡充と育成の為に会館での発表会・展示会の実施など、地域の振興と住民のふれあいの場を提供した。 ※北野田バンドフェスティバル 600 名 (メインホール)、大美野アート 1000 名、東文陶芸作品展 600 名 (ギャラリー)</p>		

		<p>②協賛金、政府系機関の後援等の獲得 「インド音楽と舞踊」(110名:フラットホール)にてエアインディアから協賛金、インド領事館から後援名義、インド政府から日印友好交流年記念事業として認定され、「済州・日本神話交流美術展」(890名:ギャラリー、フラットホール)では大阪大韓民国総領事館韓国文化院の後援名義を得るなど国際文化交流に寄与した。</p> <p>③世代に特化した事業の成立 60歳~80歳をターゲットに「懐かしの昭和映画(邦画)ポスター・看板展」(2500名:ギャラリー)を開催した。ジュニア・キッズをターゲットに「子どもアートプロジェクト」(チームラボによるデジタルコンテンツの展示、落書き広場、ワークショップで子どもの創造性の促進、7050名:ギャラリー)を堺市と共催で開催した。</p>
	今後の取組の方向性 (平成30年度以降)	<p>①地域資源(住民参加型)の活用 地元出身の落語家と地域に縁のある落語家をレギュラーにした落語会を開催。吹奏楽が盛んな地域特性を活かし、小学校から社会人までの吹奏楽団体の発表会を実施。</p> <p>②積極的な国際交流 色々な国の音楽を領事館等の後援を得ながら、ライブ公演を実施。地域住民に多様な音楽への興味を煽りながら裾野を広げていく。</p> <p>③世代を意識した事業の展開 ターゲットを60歳台以上とし、神戸映画資料館の協力のもと、「懐かしの昭和映画(邦画)ポスター・看板展」を開催。 ターゲットをジュニア・キッズに絞り込み堺市と共催で「子どもアートプロジェクト」や大阪交響楽団と共催で「0歳からのクラシックコンサート」そして文化庁委託事業 平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業に協力参画し「体験ワンダーランド」を実施。</p>

■堺市立美原文化会館

	具体的取組指標 (B)		目標値	実績値	
			H30	H28	H29
具体的取組の達成度を測る評価指標 <u>※基本的施策の評価指標を踏まえて設定すること</u>	共通指標	利用者数	150,000 人	143,663 人	134,063 人
	独自指標	文化芸術振興事業及び自主事業の参加者数	10,000 人	7,130 人	7,725 人
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	実施予定の取組 (平成 29 年度)		①区役所との連携 併設する美原区役所と会館で連携を図り、市の催事についての開催状況なども考慮し、それに連動した事業の展開に取り組む。 ②地域と連携した事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 堺こどもミュージカル (8 月) ・ ハワイアンフラフェスティバル (12 月) ・ アルテベルみはらフェスティバル (3 月) ・ 堺市吹奏楽連盟定期演奏会 (3 月) ・ こども陶芸教室 (みはら地区子ども会) など ③「アルテベル・ロビーコンサート」の開催 施設の特徴を活かし、主要道路 (国道) から面して目を引くイベントを開催することにより、精力的な事業展開をアピールする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クロマチック・ハーモニカコンサート (5 月) ・ アコーディオン・コンサート (9 月) ・ ディキシーランド・ジャズ・コンサート (2 月) ④来館者へのイベントの周知徹底を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ アルテベル・友の会の推進 ・ アルテメール (会館情報紙) 年 2 回発行 		
上記目標値達成に向けた特筆すべき取組	取組実績 (平成 29 年度)		①区役所との連携 美原芸術展の開催など、併設する美原区役所との連携を図りながら、文化芸術事業の展開に取り組んだ。		

		<p>②地域と連携した事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堺こどもミュージカル (8月) ・ ハワイアンフラフェスティバル (12月) ・ アルテベルみはらフェスティバル (3月) ・ 堺市吹奏楽連盟定期演奏会 (3月) ・ こども陶芸教室 (みはら地区子ども会) <p>③「アルテベル・ロビーコンサート」の開催施設の特性を活かし、主要道路(国道)から面して目を引くイベントを開催することにより、精力的な事業展開をアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロマチック・ハーモニカコンサート (5月) ・ アコーディオン・コンサート (9月) ・ ディキシーランド・ジャズ・コンサート (2月) <p>④来館者へのイベントの周知徹底を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルテベル・友の会の推進 ・ アルテメール(会館情報紙)年2回発行
	<p>今後の取組の方向性 (平成30年度以降)</p>	<p>①広報戦略 アルテメール(会館情報紙)の発行等、前年度に行った事業周知の取り組みに加え、SNSを活用しての広報の拡充をめざす。SNSの主要ユーザーである若年層に向けての訴求を深めるとともに、SNSの特性である双方向性を活かし、ニーズの把握と、実施事業へのフィードバック試みる。</p> <p>②事業戦略 明日の美原地域の芸術文化を担う児童・生徒に対して、その素養や可能性を开花させるべく、第一線で活躍する指導者による育成事業を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堺こどもミュージカル ミュージカルについて未経験の子どもに歌やダンス、身体表現等をトレーニングし、その成果をミュージカル公演で披露する ・ 吹奏楽クリニック&コンサート 吹奏楽初心者を対象に、一流の講師による演奏指導を行うとともに、生徒の目標となる模範演奏を披露する。